

JOYO BANK NEWS LETTER

2022年10月14日

「茨城県内主要企業の経営動向調査結果（2022年7～9月期 速報）」について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）の子会社である常陽産業研究所（代表取締役社長 下山田 和司）は、このたび、「茨城県内主要企業の経営動向調査結果（2022年7～9月期 速報）」をとりまとめましたので、その結果を下記のとおりお知らせいたします。

当社は、地域のシンクタンクとして各種調査研究および総合金融サービスの提供を通じ、今後とも、地域の課題解決のためのさまざまな情報発信および取り組みを展開し、地域の成長と活性化に貢献してまいります。

記

1. 調査結果

茨城県内企業における全産業ベースの自社業況総合判断 DI は、「悪化」超 19.5%と前期から概ね横ばいでした。業種別にみると、製造業が前期比 12 ポイント上昇した一方で、非製造業は同 12 ポイント低下しています。

今期は製造業の景況感が改善したものの、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナウイルス」）の第 7 波の影響などを受けて、非製造業の景況感が悪化しました。もともと、非製造業だけでなく、製造業についても、物価高や供給制約など、引き続き様々な課題を抱えているとみられます。なお、調査結果の詳細は、別紙を参照してください。

2. 調査の特徴

本調査は、2022年9月に茨城県内企業 210 社（製造業 89 社、非製造業 120 社、業種不明 1 社）からの回答を取りまとめたものです。従業員 300 人以上の大企業から、30 人未満の企業まで幅広く調査対象としています。

以 上



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5

Tel. 029-231-2151 (代表) www.joyobank.co.jp

概況 自社業況総合判断 DI は全産業で概ね横ばい —製造業・非製造業とも、物価高や供給制約など様々な課題を抱える状況

今回調査の概要

県内企業の景況感を表す自社業況総合判断 DI は、全産業ベースで「悪化」超 19.5%と前期（2022 年 4～6 月期）調査の同 17.4%から概ね横ばいだった（図表 1）。

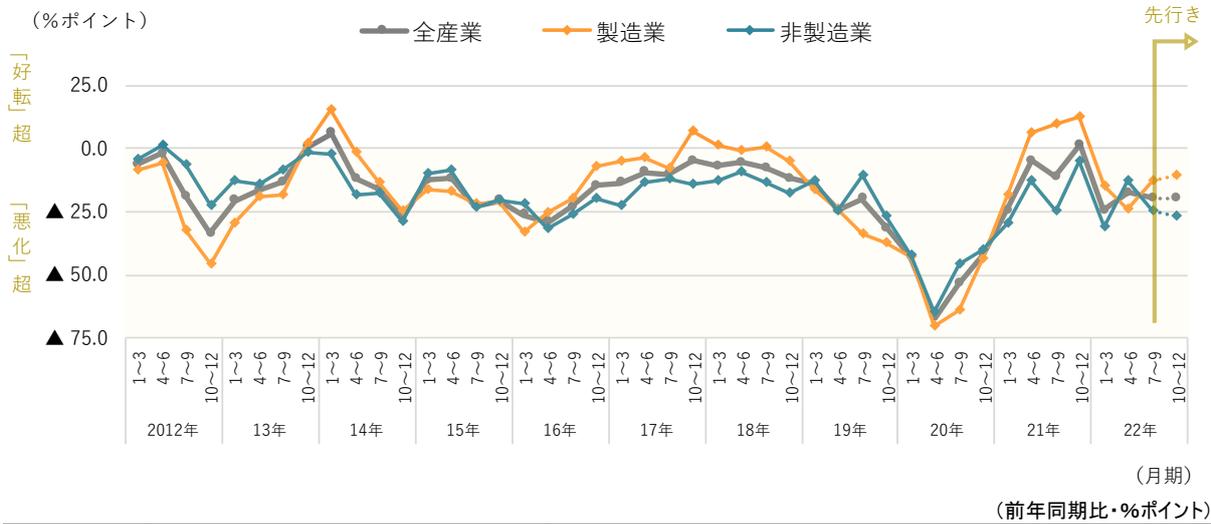
業種別にみると、製造業は「悪化」超 12.4%と、前期比 11.6 ポイント（以下、pt）上昇した。内訳をみると、素材業種が前期比 40.5pt 低下した一方で、加工業種、その他業種が上昇している（図表 2）。一方、非製造業は同 25.0%と、同 12.2pt 低下した。内訳をみると、小売業のみ前期比 10.7pt 上昇したものの、それ以外の業種は低下している（図表 2）。なお、企業規模別では、従業員数 30 人未満、30～99 人が低下、100～299 人、300 人以上は上昇した（図表 3）。

業績面の指標を業種別にみると、製造業では、生産判断 DI が「増加」超 7.9%と前期から 24.7pt 上昇し、受注判断 DI も同 2.3%と同 12.9pt 上昇している（図表 4）。一部の企業からは、「前期は取引先の減産があったが、今期は回復基調。特に白物家電関連は大幅増産となり、残業等で対応している」（一般機械）といった前向きな声が聞かれた。一方で、「第 7 波の影響で検査キットなどの売上が増加したものの、仕入値が上がっており、利益は横ばい状態」（化学）、「急激な円安に伴う原材料高・資源高でコスト高になっている」（食料品）など、仕入価格の上昇が利益を圧迫しているとの声も目立つ。また、「市場の需要は旺盛だが、半導体等の供給難に伴い受注が安定しない」（化学）、「メーカーからの受注情報変が日々変動し、生産効率が上がらない」（輸送用機械）など、世界的な部品不足、サプライチェーン停滞等の悪影響が続いているとの声も多く上がっている。製造業では前期に比べ各種 DI が改善しているものの、物価高や供給制約など、引き続き様々な課題を抱えているとみられる。

非製造業では、売上判断 DI が「悪化」超 16.2%と同 10.8pt 低下した（図表 4）。今年 7 月、政府が一律の行動制限を実施しない方針を表明するなど行動制約が大きく緩和されていたものの、企業からは「前期は客数・売上とも回復基調だったが、今期は新型コロナの第 7 波を受け弱含みとなった」（小売業）、「県民割の影響で宿泊事業は好調だったが、感染が急拡大する中でレストラン、宴会・婚礼の受注が大幅に減少。非常に厳しい状況が続いている」（宿泊業）など、新型コロナの第 7 波の悪影響を指摘する声が上がっている。また、「資材の仕入価格高騰や納期遅れが発生している」（建設業）、「原油価格上昇、ドル高円安により仕入単価の上昇が著しい。価格転嫁が仕入価格の上昇に追い付かず、粗利の減少がみられる」（石油製品卸売業）といった声も多く、製造業と同様に物価高や供給制約などが業績を下押したとみられる。

次期（2022 年 10～12 月期）の自社業況総合判断 DI は、全産業で「悪化」超 19.5%と今期から横ばいの見通しである（図表 1）。業種別にみると、製造業が同 10.3%と概ね横ばい（2.1pt 上昇）、非製造業が同 26.8%と概ね横ばい（1.8pt 低下）の見込みとなっている。10-12 月期は、政府による全国を対象とした「全国旅行支援」、茨城県と JR 東日本による「茨城プレ DC」の開始など、大型の観光需要喚起策の開始が予定されている一方で、新型コロナやインフルエンザの感染状況、為替相場、ロシア・ウクライナ情勢、これらを反映した企業物価など、見通しにくい要素も引き続き多い。先行きについては、これらの動向、また、それに伴う県内企業の対応状況などを注視する必要がある。

<図表1> 自社業況総合判断DIの推移



業種	2021年			2022年				
	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	前回調査 時点の予測	10~12月期 予測
全産業	▲ 5.0	▲ 11.3	1.4	▲ 24.6	▲ 17.4	▲ 19.5	▲ 12.9	▲ 19.5
製造業	6.1	9.6	12.5	▲ 14.6	▲ 24.0	▲ 12.4	▲ 16.2	▲ 10.3
非製造業	▲ 12.7	▲ 24.6	▲ 5.2	▲ 31.2	▲ 12.8	▲ 25.0	▲ 10.7	▲ 26.8

※自社業況総合判断DI:「好転」回答企業割合-「悪化」回答企業割合

<図表2> 自社業況総合判断DIの推移（業種別）

	2021年			2022年			
	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期 予測
全産業	▲ 5.0	▲ 11.3	1.4	▲ 24.6	▲ 17.4	▲ 19.5	▲ 19.5
製造業	6.1	9.6	12.5	▲ 14.6	▲ 24.0	▲ 12.4	▲ 10.3
素材業種	57.1	16.6	14.3	▲ 18.2	7.2	▲ 33.3	▲ 11.1
加工業種	23.9	40.0	36.1	0.0	▲ 31.3	▲ 6.9	▲ 9.1
その他業種	▲ 34.2	▲ 29.7	▲ 16.7	▲ 34.5	▲ 26.5	▲ 13.9	▲ 11.4
非製造業	▲ 12.7	▲ 24.6	▲ 5.2	▲ 31.2	▲ 12.8	▲ 25.0	▲ 26.8
建設	▲ 29.4	▲ 9.0	3.4	▲ 31.0	▲ 31.2	▲ 38.5	▲ 47.9
卸売	▲ 20.8	▲ 28.0	▲ 16.7	▲ 39.2	▲ 12.0	▲ 37.5	▲ 33.3
小売	▲ 17.7	▲ 39.1	▲ 33.3	▲ 59.1	▲ 27.3	▲ 16.6	▲ 27.8
運輸・倉庫	▲ 6.3	▲ 47.1	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 9.1	▲ 18.2
サービス他	2.0	▲ 18.8	3.9	▲ 7.3	2.0	▲ 17.0	▲ 12.5

※自社業況総合判断DI:「好転」回答企業割合-「悪化」回答企業割合

＜図表 3＞自社業況総合判断 DI の推移（企業規模別）

（前年同期比・%ポイント）

従業員数	2021年			2022年			
	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期 予測
全産業	▲ 5.0	▲ 11.3	1.4	▲ 24.6	▲ 17.4	▲ 19.5	▲ 19.5
30人未満	▲ 29.6	▲ 28.6	▲ 14.1	▲ 37.3	▲ 28.2	▲ 45.5	▲ 36.0
30～99人	4.8	▲ 3.6	8.5	▲ 26.0	▲ 13.7	▲ 15.2	▲ 16.6
100～299人	14.3	▲ 5.0	10.8	▲ 5.0	▲ 19.5	▲ 2.7	▲ 11.1
300人以上	20.0	14.3	15.4	▲ 8.7	0.0	7.7	0.0

※自社業況総合判断DI:「好転」回答企業割合－「悪化」回答企業割合

＜図表 4＞自社業況総合判断以外の主な DI の推移

（前年同期比、前期比・%ポイント）

項目	業種	2021年			2022年			
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期 予測
国内景気判断DI （「好転」－「悪化」）	全産業	▲ 18.4	▲ 20.2	5.0	▲ 29.4	▲ 15.7	▲ 27.1	▲ 31.7
	製造業	▲ 3.1	▲ 4.3	17.2	▲ 24.1	▲ 19.8	▲ 18.0	▲ 26.5
	非製造業	▲ 29.1	▲ 30.4	▲ 2.2	▲ 33.1	▲ 12.8	▲ 34.1	▲ 35.9
生産DI （「増加」－「減少」）	製造業	10.0	14.2	11.0	▲ 16.9	▲ 16.8	7.9	▲ 1.1
受注DI （「増加」－「減少」）	製造業	10.0	10.7	9.7	▲ 7.2	▲ 10.6	2.3	▲ 2.3
売上（出荷）DI （「増加」－「減少」）	全産業	2.1	▲ 8.2	6.3	▲ 17.2	▲ 9.3	▲ 5.5	▲ 6.5
	製造業	11.1	12.9	14.8	▲ 13.3	▲ 14.7	8.0	0.0
	非製造業	▲ 4.4	▲ 22.0	0.8	▲ 20.0	▲ 5.4	▲ 16.2	▲ 11.8
仕入価格DI （「上昇」－「低下」）	全産業	34.3	40.0	54.0	58.9	69.2	72.3	70.1
	製造業	42.4	55.3	71.6	75.9	79.2	80.9	73.1
	非製造業	28.4	29.4	43.1	47.0	61.9	65.6	67.5
販売価格DI （「上昇」－「低下」）	全産業	7.4	8.7	17.0	19.3	29.8	35.8	42.5
	製造業	5.0	11.7	17.3	19.8	33.4	33.7	46.1
	非製造業	9.0	6.6	16.8	19.0	27.2	37.7	40.1
経常利益DI （「増加」－「減少」）	全産業	▲ 8.0	▲ 11.1	▲ 5.1	▲ 22.7	▲ 24.0	▲ 21.7	▲ 23.0
	製造業	0.0	2.2	▲ 1.2	▲ 19.5	▲ 36.5	▲ 24.8	▲ 24.2
	非製造業	▲ 13.5	▲ 19.7	▲ 7.4	▲ 24.8	▲ 15.4	▲ 18.8	▲ 21.4

※DIは前年同期比、ただし仕入価格・販売価格は前期比

以上

茨城県内主要企業の経営動向調査結果(速報)

2022年10月14日
株式会社 常陽産業研究所

項目	業種	2019				2020				2021				2022				概況			
		1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	(前期比)		前期予測	10~12 予想	
国内景気	国内景気判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	▲10.9	▲22.2	▲19.4	▲27.5	▲61.1	▲90.4	▲79.0	▲75.1	▲53.3	▲18.4	▲20.2	5.0	▲29.4	▲15.7	▲27.1	(▲11.4)	▲12.9	▲31.7	製造業は前期から概ね横ばい(+) 、非製造業は同21ポイント低下した。 先行きは、製造業で9ポイント低下、 非製造業で概ね横ばい(-)となる見通し。
	製造業	▲12.4	▲25.2	▲29.1	▲29.9	▲58.1	▲90.6	▲83.1	▲75.7	▲40.8	▲3.1	▲4.3	17.2	▲24.1	▲19.8	▲18.0	(1.8)	▲16.1	▲26.5		
	非製造業	▲9.9	▲19.7	▲12.5	▲25.5	▲64.0	▲90.3	▲75.7	▲74.6	▲62.6	▲29.1	▲30.4	▲2.2	▲33.1	▲12.8	▲34.1	(▲21.3)	▲10.8	▲35.9		
業界景気	業界景気判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	▲21.0	▲24.9	▲23.5	▲33.5	▲44.8	▲73.7	▲59.1	▲49.3	▲31.4	▲9.1	▲16.0	▲4.2	▲25.5	▲17.5	▲21.1	(▲3.6)	▲15.1	▲22.5	製造業は前期比4ポイント上昇し、 非製造業は同9ポイント低下した。 先行きは、製造業で概ね横ばい(+) 、非製造業で4ポイント低下する見通し。
	製造業	▲23.4	▲22.4	▲33.9	▲36.4	▲47.6	▲76.9	▲64.5	▲51.4	▲25.0	4.0	2.2	10.0	▲18.0	▲25.0	▲21.3	(3.7)	▲19.4	▲19.3		
	非製造業	▲19.4	▲27.0	▲16.1	▲31.1	▲42.4	▲71.2	▲54.6	▲47.7	▲36.4	▲18.3	▲27.6	▲12.6	▲30.4	▲12.2	▲21.0	(▲8.8)	▲12.2	▲25.2		
自社業況	自社業況総合判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	▲14.1	▲24.6	▲20.1	▲31.4	▲42.6	▲67.1	▲53.6	▲41.8	▲24.5	▲5.0	▲11.3	1.4	▲24.6	▲17.4	▲19.5	(▲2.1)	▲12.9	▲19.5	製造業は前期比12ポイント上昇し、 非製造業は同12ポイント低下した。 先行きは、製造業で概ね横ばい(+) 、非製造業で概ね横ばい(-)となる見通し。
	製造業	▲16.0	▲24.1	▲33.7	▲37.4	▲43.2	▲70.1	▲63.7	▲43.9	▲18.0	6.1	9.6	12.5	▲14.6	▲24.0	▲12.4	(11.6)	▲16.2	▲10.3		
	非製造業	▲12.7	▲25.0	▲10.4	▲26.7	▲42.0	▲64.7	▲45.4	▲40.0	▲29.4	▲12.7	▲24.6	▲5.2	▲31.2	▲12.8	▲25.0	(▲12.2)	▲10.7	▲26.8		
売上 (出荷)	売上(出荷)DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲13.3	▲16.1	▲14.4	▲25.0	▲35.0	▲62.4	▲46.4	▲35.1	▲19.3	2.1	▲8.2	6.3	▲17.2	▲9.3	▲5.5	(3.8)	▲4.5	▲6.5	製造業は前期比23ポイント上昇し、 非製造業は同11ポイント低下した。 先行きは、製造業で8ポイント低下、 非製造業で4ポイント上昇する見通し。
	製造業	▲9.7	▲14.7	▲24.7	▲22.4	▲34.1	▲64.1	▲55.6	▲38.3	▲20.6	11.1	12.9	14.8	▲13.3	▲14.7	8.0	(22.7)	0.0	0.0		
	非製造業	▲15.9	▲17.2	▲6.8	▲27.2	▲35.8	▲60.9	▲38.8	▲32.2	▲18.3	▲4.4	▲22.0	0.8	▲20.0	▲5.4	▲16.2	(▲10.8)	▲7.7	▲11.8		
生産	生産DI (「増加」-「減少」)	製造業	▲6.6	▲11.7	▲20.0	▲20.6	▲33.6	▲62.1	▲55.6	▲41.1	▲20.2	10.0	14.2	11.0	▲16.9	▲16.8	7.9	(24.7)	1.0	▲1.1	前期から25ポイント上昇した。 先行きは9ポイント低下する見通し。
受注	受注DI (「増加」-「減少」)	製造業	▲13.3	▲15.5	▲25.5	▲23.4	▲36.6	▲64.7	▲58.1	▲39.7	▲19.2	10.0	10.7	9.7	▲7.2	▲10.6	2.3	(12.9)	3.3	▲2.3	前期比13ポイント上昇した。 先行きは5ポイント低下する見通し。
操業率	操業率DI (「増加」-「減少」)	製造業	▲3.0	▲11.0	▲15.5	▲23.5	▲29.3	▲54.4	▲53.2	▲32.7	▲13.2	13.3	10.9	6.1	▲13.2	▲7.3	3.4	(10.7)	3.2	2.3	前期比11ポイント上昇した。 先行きは概ね横ばい(-)となる見通し。
在庫	製品在庫DI (「過剰」-「不足」)	製造業	11.1	10.2	12.3	14.5	10.9	24.3	29.0	15.8	10.2	18.0	8.8	3.7	10.0	17.0	20.0	(3.0)	6.6	11.7	前期比3ポイント上昇した。 先行きは8ポイント低下する見通し。
販売価格	販売価格DI (「上昇」-「低下」)	全産業	3.6	3.4	0.8	0.9	▲5.5	▲15.5	▲8.7	▲3.5	▲0.5	7.4	8.7	17.0	19.3	29.8	35.8	(6.0)	35.1	42.5	製造業は前期から横ばい(+) 、非製造業は同11ポイント上昇した。 先行きは、製造業で12ポイント上昇、 非製造業で概ね横ばい(+) となる見通し。
	製造業	0.0	0.9	▲1.9	▲4.7	▲7.3	▲17.4	▲12.1	▲1.9	1.0	5.0	11.7	17.3	19.8	33.4	33.7	(0.3)	38.7	46.1		
	非製造業	6.0	5.4	2.8	5.5	▲3.9	▲14.1	▲5.9	▲5.1	▲1.7	9.0	6.6	16.8	19.0	27.2	37.7	(10.5)	32.6	40.1		
仕入価格	仕入価格DI (「上昇」-「低下」)	全産業	30.1	21.8	19.8	21.6	9.1	▲5.4	5.1	10.8	19.5	34.3	40.0	54.0	58.9	69.2	72.3	(3.1)	68.7	70.1	製造業は前期から概ね横ばい(+) 、非製造業は同4ポイント上昇した。 先行きは、製造業で8ポイント低下、 非製造業で概ね横ばい(+) となる見通し。
	製造業	40.9	14.7	20.0	11.3	4.9	▲9.5	1.6	13.1	27.0	42.4	55.3	71.6	75.9	79.2	80.9	(1.7)	77.4	73.1		
	非製造業	22.8	27.9	19.6	30.2	13.1	▲2.1	7.9	9.0	13.6	28.4	29.4	43.1	47.0	61.9	65.6	(3.7)	62.7	67.5		
経常利益	経常利益DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲21.5	▲23.3	▲28.5	▲33.3	▲39.9	▲58.9	▲46.7	▲32.4	▲18.5	▲8.0	▲11.1	▲5.1	▲22.7	▲24.0	▲21.7	(2.3)	▲16.8	▲23.0	製造業は前期比12ポイント上昇し、 非製造業は同3ポイント低下した。 先行きは、製造業で横ばい(+) 、非製造業で概ね横ばい(-)となる見通し。
	製造業	▲22.7	▲21.6	▲36.7	▲34.3	▲44.7	▲62.6	▲54.0	▲38.1	▲19.2	0.0	2.2	▲1.2	▲19.5	▲36.5	▲24.8	(11.7)	▲23.9	▲24.2		
	非製造業	▲20.8	▲24.6	▲22.8	▲32.6	▲35.5	▲56.0	▲40.8	▲27.6	▲18.0	▲13.5	▲19.7	▲7.4	▲24.8	▲15.4	▲18.8	(▲3.4)	▲11.9	▲21.4		
雇用	雇用判断DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲2.6	0.0	1.2	▲3.4	▲4.3	▲3.0	▲13.0	▲6.0	▲5.7	1.6	▲7.1	▲0.5	▲0.5	3.0	0.4	(▲2.6)	6.2	0.0	製造業は前期から概ね横ばい(-) 、非製造業は同3ポイント低下した。 先行きは、製造業で概ね横ばい(+) 、非製造業で概ね横ばい(-)となる見通し。
	製造業	3.0	▲0.9	1.8	3.8	▲4.8	1.7	▲16.1	▲7.6	▲3.0	2.0	▲5.3	2.5	▲7.2	3.1	1.1	(▲2.0)	5.4	2.3		
	非製造業	▲6.4	0.8	0.7	▲9.0	▲3.7	▲6.7	▲10.5	▲4.8	▲7.7	1.4	▲8.3	▲2.2	4.1	3.0	0.0	(▲3.0)	6.6	▲1.8		
資金繰り	資金繰り判断DI (「楽になった」-「苦しくなった」)	全産業	▲8.3	▲0.8	▲6.2	▲7.6	▲9.7	▲21.7	▲15.2	▲9.8	▲4.5	▲6.1	▲3.7	▲0.4	▲4.8	▲3.0	▲7.1	(▲4.1)	▲10.0	▲8.2	製造業は前期から横ばい(+) 、非製造業は前期比7ポイント低下した。 先行きは、製造業で概ね横ばい(+) 、非製造業で概ね横ばい(-)となる見通し。
	製造業	▲6.0	▲0.9	▲7.4	▲4.9	▲8.1	▲27.0	▲19.4	▲11.4	▲4.1	▲6.0	▲5.3	▲4.9	▲7.2	▲11.7	▲11.2	(0.5)	▲18.9	▲10.1		
	非製造業	▲9.8	▲0.8	▲5.2	▲9.9	▲11.2	▲17.9	▲11.8	▲8.4	▲4.7	▲6.3	▲2.8	2.3	▲3.2	2.9	▲4.2	(▲7.1)	▲4.3	▲6.8		
設備投資	設備投資 実施割合	全産業・実績 (6か月前計画)	58.4 (55.7)		60.3 (59.0)		57.4 (59.0)		54.7 (57.4)		60.3 (52.2)		57.9 (56.9)		55.7 (55.8)		59.5 (57.6)	(3.8)		55.2	当初計画(6か月前計画)と比べると、 製造業は4ポイント低下し、 非製造業は6ポイント上昇した。 前期実績(21年10月~22年3月期)と 比べると、製造業は6ポイント上昇し、 非製造業は概ね横ばい(+) だった。 先行きは、製造業で4ポイント低下、 非製造業で5ポイント低下する見通し。
	製造業・実績 (6か月前計画)	60.6 (62.4)		62.2 (63.5)		64.0 (63.5)		58.1 (63.2)		66.3 (51.6)		62.8 (58.4)		57.1 (57.4)		62.9 (66.7)	(5.8)		58.4		
	非製造業・実績 (6か月前計画)	57.0 (51.4)		59.0 (55.6)		51.4 (55.6)		52.0 (52.2)		55.7 (52.6)		54.8 (55.7)		54.8 (54.8)		57.5 (51.6)	(2.7)		52.5		

<調査期日> 2022年9月時点(回答受付:9月1日~26日)

<調査対象> 478社

<有効回答> 210社(製造業89社、非製造業120社、業種不明1社)

※DIは前年同期比、ただし販売価格・仕入価格・資金繰りは前期比 ※設備投資の実績は2022年4~9月期、先行きは2022年10月~2023年3月期 ※赤字は前期比マイナス

※概況では、今期の前期比・次期の今期比等について、ポイント差が1.0未満のものを「横ばい」、1.0以上3.0未満のものを「概ね横ばい」と記載している

(参考として、ポイント差がプラスの場合は(+)、マイナスの場合は(-)、0.0の場合は(=)を、「横ばい」・「概ね横ばい」の右側に記載)